

JKA協働ロボット人材育成事業

つくって、動かす！

ロボットハンドの チャック制作 ワークショップ

協働ロボットをより使いやすく！
自分の手で、ロボットハンドのチャックを作る
実践的なものづくり体験で、技術と発想力を培いませんか？

参加
無料

ワークショップの特徴

- アイデアをカタチに！
- 講師陣の手厚いサポート！
- 持ち帰って自社で使える！※1

※1 自社ハンドのチャック部CADデータをご持参ください。

会場

名古屋市工業研究所 電子技術総合センター
Nagoya Musubu Tech Lab ほか

開催日

2026年11月25日(水)・12月2日(水)・12月16日(水)
13:00～16:00 13:00～16:00 13:00～16:00
★3日間ともご参加いただける方

定員

5 社(1社2名まで)《参加条件あり》

参加条件

- 自社にロボットを導入済み、または導入を予定している製造業の方。
- CADソフトがインストールされているPCをご持参できる方。(2日目)
【PCの持ち込みが難しい方は、お申し込み前にご相談ください。】
- 1社2名まで参加可。
【現場担当者×CADオペレーターなど、2名での参加がおすすめです。】

参加費

無料

【問合せ先】

052-654-9925
seminar@nmiri.city.nagoya.jp
お申し込みは二次元コードから

主催

名古屋市工業研究所

KEIRIN



この事業は、
競輪の補助を
受けています



こんな方におすすめです

- ☒ 自社の協働ロボットをもっと活用したい！
- ☒ 導入時からチャックが変わっていない。そろそろ自分たちで改良したい！
- ☒ 既存のチャックでは、どうしてもつかめないワークがある！
- ☒ ワークにあわせて、チャックを自分で設計・制作してみたい！

タイムテーブル

11月25日(水) STEP1: アイデアを生み出す

13:00-13:05 ご挨拶・導入「本日のねらい」

13:05-14:00 **講義「ロボットハンドの可能性(仮)」**
講師: 森 一貴 氏(株式会社SmartOne)

14:00-15:00 **アイデアを描き、磨く**
「こんなチャックがあったらいい!」をラフスケッチに
講師や参加者との意見交換を通じてブラッシュアップ
最後に、進化したアイデアを参加者同士で共有します

15:00-16:00 **ロボット相談会**
ロボット導入・活用に関するお悩みや、「こんなことはできる?」といった疑問に、名古屋市新事業支援センターのロボットコーディネータがおこたえします。自社の課題やアイデアを、この機会にぜひご相談ください。

アイデアに自信がなくても大丈夫!!

講師や参加者との意見交換を通じて、アイデアを広げます!

実績のある専門家が対応!!



ロボットコーディネータ
吉田 信人 氏

12月2日(水) STEP2: アイデアをカタチにする

13:00-16:00 **CADで設計／3Dプリンタ造形**
2班に分かれ、3Dデータの作成から3Dプリンタの造形までを体験

12月16日(水) STEP3: ロボットで試す

13:00-14:30 **作ったチャックを発表する**
完成したチャックを披露し、講師・参加者で意見交換

14:30-16:00 **実機で検証する**
実際に当所の協働ロボット(FAIRINO FRシリーズ)で検証

3Dプリンタが初めてでも大丈夫!!

時間内に造形できない場合は、研究所職員が責任をもって仕上げます!

**専用形状チャック
なら...**

目的のワークに合わせて設計し、確実に把持できます。



自分で作る、
世界で一つのチャック



**フィンレイ型チャック
なら...**

様々な形状のワークをやさしく把持できます。

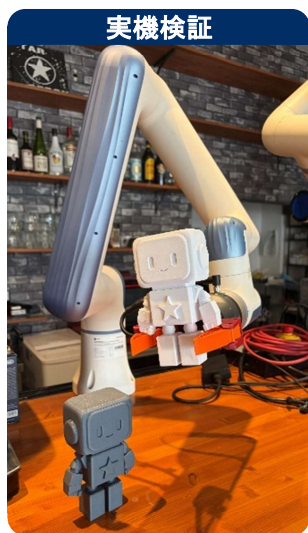
実習イメージ



CAD



3Dプリンタ



実機検証

講師について

ワークショップでは、株式会社SmartOneから3名の講師をお招きします! 株式会社SmartOneは、ロボットシステムの開発・導入から、ロボットハンドの設計・製作まで手がけるロボットのスペシャリスト。現場の「困った」を、ロボットとアイデアで解決し、「こんな使い方があったのか!」という仕組みを次々と生み出しています。また、CAFE&BARスタイルのロボット展示スペースを展開するなど、ユニークな取り組みを行っています。

